

開催報告 在宅医療・介護 ICT連携推進事業「ナラティブブック秋田」
平成29年度第3回患者・家族向け説明会

平成29年11月25日（土）午後1時30分より由利本荘市ポートプラザ「アクアパル」にて「在宅医療・介護 ICT 連携推進事業／ナラティブブック秋田第3回患者・家族向け説明会」が下記の内容にて開催され、22名が参加した。

最初に、由利本荘医師会の渡邊 廉会長より開会の挨拶が行われた。

続いて、ナラティブブック秋田運営委員会委員の伊藤伸一氏より事業説明が行われた。

その後、「地域を多職種でつなぐ～語り継ぐ いのちとものがたり ナラティブブック秋田の活用～」と題して、由利本荘医師会副会長の伊藤伸一氏より、ナラティブブックが目指す患者本位の想いまで共有する在宅医療における情報共有に関して、これまでの取り組みやテレビの取材番組の放送をもとに、実際に利用している場面を示しながら説明された。

休憩の後には、ナラティブブック秋田の事例として、金病院の圓谷智夫氏が医師の立場から、すみれ調剤薬局の菅井勝也氏が薬剤師の立場から、第一病院訪問看護ステーションの岡部留美氏が訪問看護師の立場で発表された。

その後、東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座特任研究員の岡崎光洋氏より情報共有におけるICTの活用について説明された。

最後に、「地域の医療・介護：ナラティブブック秋田のもつ『ちから』」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。

<<説明会プログラム>>

司会：ナラティブブック秋田運営委員会
委員 伊藤伸一

1. 開会の辞

由利本荘医師会 会長 渡邊 廉

2. 事業説明：ナラティブブック秋田事業説明

ナラティブブック秋田運営委員会
委員 伊藤伸一

3. 「地域を多職種でつなぐ

～語り継ぐ いのちとものがたり

ナラティブブック秋田の活用～」

由利本荘医師会 副会長 伊藤伸一

4. パネルディスカッション：

ナラティブブック秋田のもつ「ちから」

モデレーター 伊藤伸一

事例報告「薬剤師の立場から」

株式会社池田薬局 すみれ調剤薬局
薬剤師 菅井勝也

事例報告「訪問看護師の立場から」

第一病院訪問看護ステーション
看護師 岡部留美

情報共有におけるICTの活用

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座
特任研究員 岡崎光洋

ディスカッション

5. 閉会の辞

由利本荘医師会会長・講師の紹介



(渡邊 廉 会長)



(伊藤伸一 副会長)



(菅井勝也 薬剤師)



(岡部留美 看護師)



(岡崎光洋 氏)

説明会場の様子

